

2019年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 高浜市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考									
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価				今後の展開・改善点等								
巡回・窓口相談指導事業	○小規模事業者の廃業により、会員の減少傾向が続くなか、年間計画に基づき、組織をあげて小規模事業者に対する様々な相談及び指導を行う。また、未接触の会員事業者の状況を把握し必要な支援を行う。	○巡回窓口指導実企業数=753件（内、非会員実企業数49件） ○巡回窓口指導延企業数=1,953件（内、非会員指導延件数96件） ○課題解決提案件数=32件（経営指導員2人×10件、経営指導員1人×12件） ○経営革新承認件数=7件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 118.4%)			指標	課題解決提案件数 (達成度 106.7%)			○小規模事業者の持つ経営課題に対して、対応策を提案し実績を上げることができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	○巡回窓口指導計画を策定し、計画的な指導を実施する。緊急の相談があれば、柔軟に対応する。
				目標数値	1,650	実績数値	1,953	目標数値	30	実績数値	32					A			A		現行どおり	現行どおり	
記帳税務指導	○小規模事業者の経理・帳簿の記帳指導を行い、正確な税務申告と経営内容の把握ができる経理実務を指導する。 ○（公社）刈谷法人会高浜支部、（公社）刈谷法人会高浜支部女性部、高浜市青色申告会、刈谷納税貯蓄組合連合会高浜支部のいわゆる税務協会の事業運営の委託により、商工業者に税務知識の修得と納税意識を向上させる。	○指導対象者数 = 46人 ○指導延日数 = 216日 ○指導延回数 = 568回 ○（公社）刈谷法人会高浜支部 = 会員数 294社 ○高浜青色申告会 = 会員数 220社 ○刈谷納税貯蓄組合連合会高浜支部の事業運営	小規模事業者各団体構成員	指標	指導対象者数 (達成度 102.2%)			指標	(達成度 %)			○正確な税務申告財務内容の把握ができる経理事務の指導を行うことができた。 ○（公社）刈谷法人会高浜支部、高浜市青色申告会、刈谷納税貯蓄組合連合会高浜支部の事業を受託することにより、商工業者に税務知識の習得と納税意識を向上させることができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	○記帳機械化対象事業所の廃業に伴い、目録数値を下げた
				目標数値	45	実績数値	46	目標数値		実績数値						A			A		下げる	現行どおり	
創業支援	○創業を目指す人達を対象に専門家による経営のノウハウ及び創業事業計画書作成の支援を行う。 ○事業が順調に推移するよう、創業後も定期的なフォローアップ支援を行う。 ○創業支援融資の斡旋と利子補給の斡旋を実施する。	○専門家による「たかま経営塾」の開催 = 計5回開催、受講者11人 ○創業事業計画書の作成支援 = 2人 ○創業後フォローアップ支援 = 19人 ○高浜市と提携して創業支援融資の斡旋と利子補給の斡旋。	創業予定者	指標	たかま経営塾受講者数 (達成度 73.3%)			指標	創業事業計画書作成支援 (達成度 100.0%)			講習会を通じて、小規模事業者が経営に必要な知識を身に付け、経営基盤の安定強化を図ることができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	○本年度は30年度開業事業者のフォローアップに力を注いだ。令和2年度に開業予定の事業者に重点を置き、支援をしていく。
				目標数値	15	実績数値	11	目標数値	2	実績数値	2					A			B		現行どおり	現行どおり	
講演・講習会等開催事業	○多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融・税務等の知識習得や時事的な問題についての啓蒙を図り、事業者の資質向上と円滑な事業運営に寄与する。	○集団指導=8回 65人・経済講演会、部会研修会の開催 ○個別指導=26回159人・金融相談、記帳相談、源泉・年調・決算・消費税指導会の開催	小規模事業者	指標	集団指導回数 (達成度 100.0%)			指標	個別指導回数 (達成度 104.0%)			○税務支援の要望が大きいため、源泉納付指導会、年末調整指導会、決算申告指導会を行うことにより、小規模事業者への支援を行うことができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	○消費税軽減税率制度が実施されたため、税務に対する講習会要望が少なくなると判断し、集団講習会の開催回数を減らす。
				目標数値	8	実績数値	8	目標数値	25	実績数値	26					A			B		下げる	現行どおり	
地域イベント事業	○高浜市の地域資源のPRと地域の活性化を図るため、高浜市内外の各種イベントに会員事業者の参加を促す。 ○会員事業者の売上と地域経済の活性化を図るため、ご当地グルメ「高浜とりめし」を活用した普及推進事業を行う。	○5月 人形小路花まつり = 参加 10事業所 ○10月 春鬼みちまつり = 参加 24事業所 ○随時 ご当地グルメイベント = 参加 7事業所	一般市民及び商工会員	指標	延参加事業所数 (達成度 91.1%)			指標	(達成度 %)			○各種イベントへの参加を促すことにより、多くの会員事業者が参加した結果、地域資源「三州瓦」や「高浜とりめし」のPRと事業者の売上確保に貢献した。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	○従来出店していたイベントが無くなったので目標を下げた。引き続き新たなイベントの出店情報の提供と参加者募集に取り組む。
				目標数値	45	実績数値	41	目標数値		実績数値						A			A		下げる	現行どおり	
商工業振興事業	○消費者の生活形態の変化、郊外型大型店等への購買力流出など、地元小規模事業者が抱える様々な経営課題解決に向け、地域の活性化、集客力の向上につながる魅力あるイベント事業を実施し、地元商店の活性化に寄与する。	○高浜商店振興会のポイントカードの発行。 ・ポイントカード売上高=2,809千円 ○市内循環バスの乗車券の発行及び販売店へ販売。 ・利用券発行証明料取扱高=840千円	小規模事業者	指標	ポイントカード売上高（千円） (達成度 112.4%)			指標	循環バス利用券発行証明書取扱高（千円） (達成度 100.0%)			○ポイントカードの活用や循環バス利用券の販売により、参加事業所の売上確保に貢献した。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	○循環バス利用券は、来年度は増加予想。高齢者の免許返納が多いため、循環バス利用券が活用される。
				目標数値	2,500	実績数値	2,809	目標数値	840	実績数値	840					A			B		現行どおり	上げる	
調査・広報事業	○会員事業者の満足度と必要性を調査する。 ○ホームページ、商工会報、一括配布物を活用し、会員への情報提供を行うとともに、新たな視点での情報提供方法について取り組む。	○配布物による情報提供=年12回 ○商工会報の毎月発行 = 年12回 ○満足度調査 令和2年3月実施	会員事業所	指標	満足度調査（回） (達成度 100.0%)			指標	(達成度 %)			○満足度調査では、商工会事業について知る機会となった。 ○ホームページ、商工会報を通じて小規模事業者が必要な施策を知ることが出来た。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	○ホームページの新着情報により、各種施策を会員事業所へタイムリーに伝える。
				目標数値	1	実績数値	1	目標数値		実績数値						A			A		現行どおり	現行どおり	
労務関係支援事業	○中小事業主による労働保険の事務処理の軽減を図り、労働保険の適用促進、保険料の適正な徴収を図る。 ○市内事業主が、優秀な労働力の確保をし、経営基盤の充実に資するよう人材確保の支援を行う。 ○（一社）刈谷労働基準協会が行う、労働安全衛生講習等に参加する。	○労働者のセーフティネットである労働保険事務処理支援。 ・委託事業者 = 167事業者 ○中小企業退職金共済制度への加入促進。 ・新規加入者 = 8事業者 ○高浜、刈谷、安城、知立、東浦による合同企業説明会の開催。（新型コロナウイルスの影響により中止） ・募集企業数=7社 ○（一社）刈谷労働基準協会に加盟する事業に参加 ・刈谷労働基準協会講習会参加者 = 249人	会員事業所	指標	労働保険事務委託事業者数 (達成度 111.3%)			指標	合同企業説明会参加企業数 (達成度 70.0%)			○労働保険に加入することで、元請事業所などの信用度を高めることができた。 ○会員事業所の従業員採用に協力することができた。 ○各種経済団体の事業推進により、それぞれの経済団体の存在意義のアピールと地域社会の発展に関わることができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	○継続的に事業者に対して労働保険の周知と加入勧奨を推進する。 ○地元事業者の人材確保のため、継続して合同企業説明会への参加支援を行う。
				目標数値	150	実績数値	167	目標数値	10	実績数値	7					A			B		現行どおり	現行どおり	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2019年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 高浜市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考					
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価					今後の展開・改善点等				
青年部・女性部対策事業	○地域経済の担い手となる青年部の部員同士の交流やイベント等による地域社会への参加により、地域社会の発展に寄与する。 ○商工業に携わる女性が経営知識等を得るとともに、部員の交流や地域社会との関わりをもつことにより地域社会の発展に寄与する。	○青年部 ・夏まつり事業、イルミネーション事業、青年部勉強会2回（内経営計画策定セミナー1回：参加者12名）、西三河支部事業、中部ブロック大会、全国大会への参加 ○女性部 ・研修会、講習会（参加者10名）、視察研修旅行の開催。 ・イベントへの参加、協力。 ・県女連・西三河支部女性部への参加	青年部 女性部 一般会員 及び一般市民	指標	経営計画策定セミナー参加者数 (達成度 120.0 %)			指標	女性部講演会参加人数 (達成度 100.0 %)			○青年部 地域住民及び異業種事業者との交流を通じて、地域社会の発展に貢献した。 ○女性部 部員の交流や地域社会との関わりを持つことにより地域社会の発展に貢献した。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	○青年部が行う各種イベントにて、一般市民へ広く商工会を紹介する。 ○自社の事業計画の必要性を認識してもらうため、引き続きセミナーを開催する。
				目標数値	10	実績数値	12	目標数値	10	実績数値	10				調査結果	必要性	実施方法①	実施方法②		
部会・委員会事業	○部会事業を通じ、事業者間の交流や情報交換などにより参加事業者の発展及び地域振興に資する。	○窯業部会 = 地場産業である三州瓦活性化事業の実施（72人） ○サービス部会 = 理美容講習会の開催（年4回）（24人） = 市内金融機関との情報交換会（5人） ○運輸整備部会 = マイカー整備点検教室の開催（20人） ○建設部会 = 鬼みちまつりでの会員事業所PR（7人） 市との意見交換会（38人） （上記参加事業者 = 166事業者）	各部会員	指標	参加事業者 (達成度 166.0 %)			指標	（達成度 %）			○三州瓦活性化事業を行い、窯業関係者の他に、金融機関、一般会員を巻き込み「一富士二鷹三州瓦」のキャッチフレーズを用いて三州瓦を周知できた。また、8月8日（屋根の日）に、三州瓦をPRするイベントを開催し、窯業関係者だけでなく一般市民へも周知できた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	○三州瓦活性化事業として、三州瓦のPRを積極的に行っていく。市内のマンホールに鬼瓦が描かれているため、マンホールカードを作成し、市民に広く周知する。
				目標数値	100	実績数値	166	目標数値		実績数値					調査結果	必要性	実施方法①	実施方法②		
福利厚生対策事業	○事業主及び従業員の健康管理のため、健康診断を受診しやすい環境を提供する。 ○事業主及び従業員に対しての福利厚生事業を行う。	○健康診断の受診斡旋 = 年2回（受診者 557人） ○事業主・従業員及び家族に対する遊園地入場券割引利用券の発行。 ・利用事業者 = 236事業者	会員企業 及び従業員	指標	健康診断受診者数 (達成度 139.3 %)			指標	福利厚生利用事業者 (達成度 472.0 %)			○事業所の近くで健康診断を行うことができたため、健康診断を行う環境が整い、受診率向上につながった。 ○利用券を発行することで、事業者の福利厚生事業を増進させることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	○福利厚生の案内を商工会員に配布することで、利用者の周知を図る。
				目標数値	400	実績数値	557	目標数値	50	実績数値	236				調査結果	必要性	実施方法①	実施方法②		
中小企業共済等加入促進事業	○中小企業共済への加入を促進し、会員事業所の経営者、従業員の福利厚生と生活保障の充実を図る。 ○小規模企業共済への加入を促進し、経営者の節税と退職金対策の充実を図る。 ○倒産防止共済への加入を促進し、経営の安定と退職金対策の充実を図る。	○未接触会員事業所を中心に中小企業共済加入勧奨を実施。 ○税務指導の際に、小規模企業共済・倒産防止共済の加入勧奨を実施。 ・中小企業共済等契約件数 = 46件	商工会 会員事業所	指標	中小企業共済等契約件数 (達成度 184.0 %)			指標	（達成度 %）			○未接触会員を中心とした中小企業共済等の加入勧奨を行い、事業所の家族、従業員の福利厚生を充実させ、安定した経営を推進できた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	○商工会員事業所のニーズにあった共済の周知と、加入勧奨を推進する。
				目標数値	25	実績数値	46	目標数値		実績数値					調査結果	必要性	実施方法①	実施方法②		
会員増強事業	○国・県・市町村補助金の見直しや、小規模事業者会員の減少による自己財源の確保難などから、会員増強事業により財政力強化を図る。	○商工会員への「会員紹介制度」の実施 ・実施時期 = 前期6月～8月・後期10月～12月会員紹介事業者数2 ○商工会未加入事業所へのダイレクトメールの実施 ・実施時期 = 9月（新規加入事業者数 = 26事業者）	商工会員及び 小規模事業者	指標	会員紹介事業者数 (達成度 66.7 %)			指標	新規加入事業者数 (達成度 130.0 %)			○会員増強事業により、新規会員が加入し、商工会事業を周知することが出来た。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	○今後も会員増強事業を現状どおり継続し、未加入事業者の加入促進に努める。
				目標数値	3	実績数値	2	目標数値	20	実績数値	26				調査結果	必要性	実施方法①	実施方法②		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付けています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。